



ニュースレター限定 社長コラム

『11月実施の全社員勉強会は今年で10年目！』

代表取締役 近藤 千奈美

毎年11月の祝日を利用して、コンプライアンスやガバナンス、情報セキュリティといったテーマや成長している企業ではどのようなことに取り組んでいるのかを学ぶ、全社員勉強会を開催しています。

資料がある範囲でこの勉強会の歴史をさかのぼってみると、先進な取り組みをしている製造業の中小企業様をバスチャーターして視察訪問したのが2014年11月。10年という間、コロナでも欠かさずことなく続けてこられたことは、社員の協力あってこそです。感謝、感謝、しきりです。

この勉強会では、各社員に勉強会の進行やテーマ別の発表者になっていただいたりと、事前に役割が割り振ってあります。全員が何らかの小さなプロジェクトリーダーや担当を担うことで、プロジェクト管理の練習ができる（強制的にさせる？）場にもなっています。仕事でいきなり割り振られた役をこなすのは荷が重いですが、この勉強会で割り振られた役割で失敗しても、社内のことなので問題は全くありません。そうした、意図的に失敗する場ともなっています。

教育テーマの講師を務める社員は、普段からやや重めの役目を担っているメンバーが主となります。今年は、環境整備の考え方のプレゼン+ワークを組み合わせたチームが、社員から「とっても面白くわかりやすかった！」という声を集めとても好評でした。

勉強会を始めた10年前は不満の嵐でしたが、今年は社員ひとりひとりの個性が光る、会社の今後が楽しくなるような勉強会で目頭がちょっと熱くなりました。

	1	2	3	4	5
自由	1=48	2=16	2=47	2=53	2=00
自由	1=38	1=01	1=41	1=35	1=27
自由	0=10	0=09	0=86	0=97	0=04

整理整頓の体感ワーク。タイムを競いました！





『カップル成立?』



技術者の眩き

エンジニアリング事業部・佐藤

現在、私はエンジニアリング事業者の採用を担当しております。採用活動を行っている、採用が男女の出会いに似ていると思うことがあります。応募やスカウトが出会い、面接がまさにお見合い、入社がカップル成立だと。



相手に選ばれるにはアピールや魅力が必要です。それは企業も同じです。しかし、カップル成立がゴールでないことは皆さまご承知だと思います。まずはたくさんスタート地点に立てるように採用活動を行ってまいります。

ニュースレター限定 営業マンのコラム

『自然の中でリフレッシュできる理由 (わけ)』

コンテンツサービス事業部 後藤 (Mr.ベースマン)



先日自分の部屋にいる時にふと気づいたことがあります。

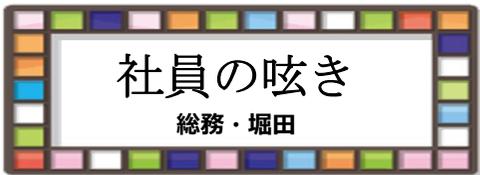
それは、この空間にあるものはすべて「私の」何かしらの目的のために存在している、ということです。一見ガラクタに見えるものも、元々は理由を持って存在していました。今は壊れてしまったかもしれない道具も、それが必要でここに存在しています。

つまり、この空間は私の意志によってこの家へ来た物だけの世界なのです。

これが外の空間、例えば仕事場になると、会社の意志とか別の人の意志が混ざってきますが、ある程度の方向性は同じ、揃っています。だからなんとなく傾向もあり、整っている感じになります。

その点自然はどうでしょう？草木は勝手に自分の思い思いの方向へ伸びますし、陽当りの奪い合いは当たり前だし、「私の」意志なんて全く関係ないんですね。その空間に自分を置くことによって、物から切り離されて自由になれるような、解放感と大なる自然の意志を感じることができるのではないのでしょうか？

自然の意志はバランスです。必要な数だけ存在し、不要なものは淘汰される。そのあたりまえの法則に触れることで「私の」というちっぽけな概念が消え、気分がリフレッシュされるのかなあ？と考えました。どうでしょうね？



社員の眩き

総務・堀田

『ふらっと旅』



昔からアウトドア好きの私は、季節ごとにあちこちへお出かけしています。春は桜の名所へ、夏はきれいなビーチへ、秋は紅葉がきれいな公園や山へ、冬は雪景色を楽しめる温泉へ行くことが楽しみとなっています。基本は車での移動が多く、この夏も西日本をまわりましたので、1500キロほどの大移動となりました。四季折々の良さを感じられる日本、これからもたくさんの場所に足を運んで、まだ見たことのない景色を楽しみたいと思います。

教えて！

翻訳 Q&A



Q: オフィスにある備品の英語って意外と知らないものが多いと感じます。よく使用するものの英語表現を知りたいです。

A. 普段使っている身近なものでもとっさに英語が出てこない時ってありますよね。今回は「ペン」に絞って見ていきましょう。

シャープペン

mechanical pencil

直訳すると「機械的な鉛筆」となります。"sharp pencil"ではないので注意しましょう。

ボールペン

ballpoint pen

先端 (point) にボール (ball) がはめ込まれていることからこのように呼ばれています。

油性ペン・水性ペン

permanent marker/non-permanent marker

マジックやサインペンにあたる英語が"marker"です。"permanent"は「永久の」という意味の単語で、ずっと跡が残るくらい濃い油性ペンの特徴と簡単に洗い落とせる水性ペンの特徴がわかりやすく表れている表現です。

蛍光ペン

highlighter

ハイライト (highlight) という単語はスポーツやニュースなどで聞きなじみがあるかもしれませんが。「強調する、目立たせる」という意味があります。

文房具は英語で"stationery"と言います。ちなみに"stationary"というとても良く似た単語がありますがこちらは「静止した、変化のない」という意味が全く異なる単語になりますのでご注意ください。



コンテックスHP
下記 QR コードまたは
『技術翻訳
コンテックス』で検索！



HP にバックナンバーが
掲載されています♪